

S-1:特別セッションI(関係省庁セッション)

開催日時・会場 9月14日(火曜日) 10:30-12:00 2階中ホール

研究力強化に資する政策の実装と研究推進支援人材

本年3月に閣議決定された「第6期科学技術・イノベーション基本計画」では、気候変動をはじめとするグローバルな課題解決や、少子高齢化やコロナ禍に対応する社会システムの改革を念頭に、国民一人ひとり、世界の市民に多様な幸せをもたらすための政策的創案を目指すとされています。

基調講演では、知の拠点である大学等が取り組むべき政策や社会システムの課題、最先端の研究の先導や自然科学と人文・社会科学が融合する総合知の確立、およびグローバルな課題の解決を主体的に推進する研究支援人材への期待などを講演者よりご紹介頂きます。

話題提供では、文部科学省が主導するURA質保証における研修・認定制度や研究大学コンソーシアムの異分野融合プロジェクト(MIRAI)の活動など、URAを中心とする研究推進支援人材を取り巻く最新の状況を共有化します。

パネル討論では、「第6期科学技術・イノベーション基本計画」を起点に、今後、大学等における研究推進支援人材が取り組むべき活動内容と目指す方向性について、ご議論頂きます。

講演者/パネリスト

柳 孝:文部科学省・文部科学審議官



1987年科学技術庁入庁、科学技術振興局研究振興課長補佐、UCSB留学、原子力局政策課長補佐、科学技術振興局企画課長補佐、大臣官房総務課副長、大臣秘書官事務取扱、外務省欧州連合日本政府代表部参事官、研究振興局研究環境・産業連携課長、内閣官房副長官補付内閣参事官、研究開発局宇宙開発利用課長、研究開発課長、大臣官房政策課長、内閣府大臣官房審議官(科学技術・イノベーション担当)、大臣官房長、内閣府政策統括官(科学技術・イノベーション担当)、科学技術イノベーション推進事務局統括官、文部科学省・文部科学審議官

講演者

小泉 周:自然科学研究機構・研究力強化推進本部・
特任教授(統括URA)



慶應義塾大学医学部卒業。医師、医学博士。ハーバード大学医学部
研究員などを経て、2013年より現職。統括URAとして、研究力強化の
取り組みを主導している。

講演者/ファシリテーター

高橋 真木子:RA協議会(金沢工業大学)・
副会長(教授)



東工大、東北大、(独)理化学研究所等の在籍約20年間に、産学連携、
技術移転、研究推進支援に携わる。RMAN-J設立準備委員長を担い創設よ
り副会長を務める。KEK(高エネルギー加速器研究機構)理事、NISTEP、
GRIPS客員研究員、東大政策ビジョン研究センター客員研究員、中央教
育審議会委員、産業構造審議会委員、JSTプログラムオーガナイザー等
を兼務。専門分野は研究開発マネジメント、技術・知識移転など。東北
大学大学院終了。博士(工学)

パネリスト

和田 洋:筑波大学・理事・副学長



1995年京都大学 理学研究科 修了、理学博士、1998年～2004年京都大
学 大学院理学研究科附属瀬戸臨海実験所 助手、2004年筑波大学・大学
院・生命環境科学研究科・助教授、2007年同教授、2017年～2018年研究
戦略室 室長(兼任)、2021年より現職。専門分野は進化生物学。